



学校再開

帝京大学小学校校長 石井 卓之

学校が再開して3週間が経ちました。再開日初日の6月9日(火)は2年生・3年生・6年生、10日(水)は1年生・4年生・5年生が登校してきました。再開前に先生たちは、「早く、子どもたちに会いたいです。」と話していました。それがようやく叶いました。学校における「新たな生活様式」に、教職員も子どもたちも慣れる段階です。時間はかかりますが、最悪の状態を想定しながらも、安全第一で進めています。バスに乗車するときの消毒、密を避けるための座席位置、感染防止のための会話制限など、手間や時間が必要ですが、子どもたちの協力もあり順調に進んでいます。玄関前での検温や体操着への着替えもルーチンとして定着しつつあります。一番心配していた子どもどうしの距離についても、指導を受けたことを基に一人ひとりが考えて行動することができています。とてもすばらしいと思いました。また、1学級の人数が少ないこと、施設に一定の広さがあること、養護教諭が専門性に基づいて立てた対応策を全校で実施できる協力体制があることなど、本校の特色がコロナの感染防止に生かしています。しかし、学習指導にはいろいろな面で制限があります。特に大変なのが、音楽、図工、家庭科、体育などの実技系教科です。できないことが多く、授業の内容を組み替えたり、実施方法を工夫したりして取り組んでいます。



登校時の昇降口前での検温



登校時してからの手順表示



体育は4m間隔を空けて



対面ではできない笛はオンラインで



英語はオープンで距離を取って



雨の日の登校が大変

この間ママモルメでもご連絡していますが、感染防止の第一歩は「コロナ対策健康観察表」の検温と保護者印です。担任は、子どもたちが登校するとこのカードを一枚一枚念入りに確認します。学校の中で感染を広げないためには重要な取組となるからです。不備がある場合には、学校から保護者の皆様に確認の連絡を入れさせていただいています。勤務先へかけることもあります。趣旨をご理解いただきご協力をお願いします。発達段階に合わせて子どもたちに任せることも可能ですが、検温したかどうかなどの声掛けの実施は忘れずをお願いします。

今後、コロナの感染防止とともに熱中症への対策も考慮して教育活動を進めていきます。そのために、ルールの変更も起こってきます。学校からはその都度ご連絡しますが、ご家庭のご協力を重ねてよろしくお願いいたします。